

問1 高知県室戸市の地形図「羽根」に記された吉野川周辺の様子を文章化した以下の説明のうち、地形図から読み取れる標高や土地の起伏の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、この地域には北側に山地、南側に海岸線が位置しています。 (2019年 島根県公立入試 類似)

1. 山地から海に向かって等高線の数値が大きくなっているため、海に向かってうほど標高が高くなる逆転現象が起きている。
2. 海岸沿いの地域は等高線が一定の間隔で海に向かって同心円状に広がっており、巨大な扇状地を形成している。
3. 吉野川にかかる吉良川大橋の周辺は等高線が全く存在しないため、海拔0m以下の土地が広がっている。
4. 吉野川の北側（上流側）では等高線が非常に密に重なっており、急峻な山地から河川が流れていることがわかる。

問2 1960年代の日本は「高度経済成長」と呼ばれる急速な発展を遂げ、1968年には当時の資本主義経済圏において国民総生産（GNP）が第2位に到達しました。しかし、1973年に発生したある出来事によって、この高い経済成長は終焉を迎えることとなります。この1973年の出来事として正しいものはどれですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)

1. ブラザ合意による急激な円高の進行
2. 株式や土地の価格が異常に上昇したバブル経済の崩壊
3. 変動為替相場制への移行による輸出の激減
4. 第四次中東戦争を背景とした石油危機の発生

問3 日露戦争後の1905年、日本は第二次日韓協約（韓国保護条約）を締結して韓国の外交権を奪い、保護国としました。このとき、韓国の外交などを管理するために現地に設置された機関の名称として正しいものを選びなさい。 (2025年 島根県公立入試 類似)

1. 駐韓公使館
2. 統監府
3. 朝鮮総督府
4. 開拓使

問4 日本海側の気候において、夏と冬の気象条件の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)

1. 夏は南東の季節風によって連日雨が降り、冬は乾燥した冷たい風によって晴天が続く。
2. 夏はフェーン現象により猛暑となることがあるが、冬は太平洋側よりも降水量が少なくなる。
3. 夏は季節風の影響で晴天の日が多く、冬は北西の季節風によって雪や雨が多くなる。
4. 夏はオホーツク海高気圧の影響で低温となり、冬は暖流の影響で全く雪が降らない。

問5 江戸時代、幕府はキリスト教の禁教を徹底する一方で、第8代将軍の徳川吉宗は「享保の改革」において、キリスト教に関係のない「漢訳洋書」の輸入制限を緩和しました。この政策が取られた背景として最も適切な理由はどれですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)

1. 実用的な学問である「実学」を奨励し、農業や天文などの知識を国内の産業や暦の改良に役立てるため
2. オランダ商館を出島から江戸へ移転させ、幕府が直接貿易を管理する体制を整えるため
3. キリスト教の布教を認めることで、鎖国政策を終わらせてヨーロッパ諸国との自由貿易を再開するため
4. イエズ会の宣教師を登用して、西洋の軍事技術を導入し幕府の軍事を強化するため

問6 日本国憲法第七十三条では、内閣が行う事務について規定されています。その規定によると、内閣が外国と条約を締結する際に必要とされる手続きとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)

1. 条約の内容についてあらかじめ最高裁判所の違憲審査を受けること
2. 締結の前に必ず国民投票を行い、過半数の賛成を得ること
3. 事前に、または状況に応じて事後に国会の承認を経ること
4. 全ての地方公共団体の長から同意を得ること

問7 為替相場が1ドル＝80円から1ドル＝110円に変化した状況において、日本の輸出企業に与える影響と、その現象の名称の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。 (2020年 島根県公立入試 類似)

1. 円安と呼ばれ、海外での日本製品の価格が実質的に下がるため、輸出企業の利益が増えやすくなり有利に働く。
2. 円高と呼ばれ、海外での日本製品の価格が実質的に上がるため、輸出企業の製品が売れにくくなり不利に働く。
3. 円安と呼ばれ、海外での日本製品の価格が実質的に上がるため、輸出企業の製品が売れにくくなり不利に働く。
4. 円高と呼ばれ、海外での日本製品の価格が実質的に下がるため、輸出企業の利益が増えやすくなり有利に働く。

問8 1858年に井伊直弼がアメリカと締結した日米修好通商条約において、日本側の主権が侵害されていたとされる「関税自主権」の問題について、その説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)

1. 輸出入の総額を幕府が制限することを禁じられ、すべての品物を無税で流通させなければならなかったこと。
2. 輸入品にかかる税率（関税）を、日本が独自に決めることができず、相手国との協議によって決めなければならなかったこと。
3. 港での検疫や入港手続きをすべて外国の役人が行うため、日本側が手数料を受け取れなかったこと。
4. 日本国内で外国人が商売を行う際、その利益に対して日本政府が一切課税できなかったこと。

問9 製造物責任法（PL法）が制定された主な理由として、それまでの損害賠償の仕組みと比較した際の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 島根県公立入試 類似)

1. 消費者が商品を購入する際の契約内容を自由に解除できるようにし、不当な勧誘から守る必要があったため。
2. 国や地方公共団体が消費者の安全を保護するための基本的な責務を明確にする必要があったため。
3. 企業間の公正な競争を促し、消費者がより安く安全な商品を選択できる環境を整えるため。
4. 製造業者の故意や過失を消費者が証明することは技術的に難しいため、製品の欠陥の証明だけで責任を問えるようにした。

問10 19世紀末から20世紀初頭にかけて、イギリスは伝統的な外交方針であった「光榮ある孤立」を捨て、1902年に日本と同盟を締結しました。この決断の背景となった当時の東アジア情勢として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)

1. ロシアが不凍港の獲得を目指して南下政策を強め、イギリスの権益と対立したため
2. アメリカが門戸開放を要求して中国市場へ進出し、イギリスの独占が崩れたため
3. ドイツがフランスと結んで東アジアへ軍事介入し、イギリスを孤立させたため
4. 清で義和団事件が起こり、列強が共同で出兵したことでイギリスの影響力が低下したため

問11 本初子午線（経度0度）を基準として、東経九十度、百八十度、西経九十度の各経線上に位置する地点を比較したとき、地球の自転の影響によって、世界で最も早く新しい日付が始まる地点はどこか、正しいものを選びなさい。 (2024年 島根県公立入試 類似)

1. 東経九十度（アジア付近）の地点
2. 百八十度（太平洋付近）の地点
3. 西経九十度（北アメリカ付近）の地点
4. 本初子午線（経度0度）上の地点

問12 1221年に起きた承久の乱の後、鎌倉幕府の支配がそれまでの東国中心から、西日本にまで大きく広がった理由として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 島根県公立入試 類似)

1. 執権の北条氏が、天皇に代わって京都で政治を行う「公家政権」を新たに樹立したため
2. 朝廷が幕府の軍事力を認め、西日本の統治権をすべて将軍に譲り渡す宣言を出したため。
3. 上皇側に味方した貴族や武士の所領を幕府が没収し、そこに多くの地頭を新たに任命したため。
4. モンゴルの襲来に備えるため、西日本の武士たちが自発的に幕府の傘下に入ったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 吉野川の北側（上流側）では等高線が非常に密に重なっており、急峻な山地から河川が流れていることがわかる。	地形図において、河川の上流にあたる山地部では、等高線が密集して描かれることが一般的であり、これは傾斜が急な山地であることを示しています。室戸市周辺は海岸段丘などの特徴的な地形が見られますが、川が山から平地へ出る際の起伏の読み取りにおいては、等高線の密度の変化に注目することで、土地の高さや斜面の状態を正しく判断することができます。
問2	答え 4 第四次中東戦争を背景とした石油危機の発生	1960年代を通じて日本は驚異的な経済成長を見せ、1968年には国民総生産（GNP）で世界第2位となりました。しかし、1973年に第四次中東戦争が勃発し、産油国が原油価格を引き上げたことで石油危機（オイル・ショック）が発生しました。これにより日本国内の物価が急騰し、戦後初めて経済成長率がマイナスを記録して、高度経済成長期が幕を閉じました。
問3	答え 2 統監府	日本は韓国を保護国化した際、外交権を掌握するために漢城（現在のソウル）に「統監府」を設置しました。初代統監には伊藤博文が就任し、韓国の内政にも干渉を強めていきました。1910年の韓国併合後には、より強力な統治機関として「朝鮮総督府」が設置されることとなります。開拓使は北海道の開拓と守備を目的に設置された機関です。
問4	答え 3 夏は季節風の影響で晴天の日が多く、冬は北西の季節風によって雪や雨が多くなる。	日本海側の地域では、冬は湿った北西の季節風によって雪や雨が多くなりますが、逆に夏は太平洋側から吹き込む南東の季節風が中央の山脈を越えてくる際に水分を失うため、乾燥して晴天の日が多くなるという対照的な特徴を持っています。この季節ごとの対照的な天候は、日本の中央を走る山脈と季節風の向きによって生じます。
問5	答え 1 実用的な学問である「実学」を奨励し、農業や天文などの知識を国内の産業や暦の改良に役立てるため	徳川吉宗は、幕府の財政を立て直すために産業の発展を重視しました。その一環として、キリスト教の布教に繋がらない科学技術や医学などの実用的な知識が書かれた漢訳の西洋書籍（漢訳洋書）に限り、輸入制限を緩めました。この政策は、のちに杉田玄白らが活躍する「蘭学」が発展する重要なきっかけとなりました。
問6	答え 3 事前に、または状況に応じて事後に国会の承認を経ること	内閣は外交関係を処理する権限を持ち、条約を締結する実務を担いますが、条約は国民の権利や義務に深く関わるため、国民の代表機関である国会のコントロールを受ける必要があります。憲法第七十三条第三号では、条約の締結に際して「事前に、時宜によつては事後に、国会の承認を経ることを必要とする」と定められています。
問7	答え 1 円安と呼ばれ、海外での日本製品の価格が実質的に下がるため、輸出企業の利益が増えやすくなり有利に働く。	1ドルを交換するために必要な日本円の額が80円から110円に増えることは、他国通貨（ドル）に対して円の価値が相対的に下がることを意味するため「円安」と呼ばれます。円安の状態では、海外市場においてドル建ての販売価格を安く設定しても、日本円に換算した際の売上額を維持しやすくなるため、国際的な価格競争力が高まります。その結果、製品が売れやすくなり、日本の輸出企業にとっては利益を伸ばしやすい有利な状況となります。
問8	答え 2 輸入品にかかる税率（関税）を、日本が独自に決めることができず、相手国との協議によって決めなければならなかったこと。	関税自主権の欠如とは、自国に入る輸入品に対してかける税率を、自国の判断で決定する権利がない状態を指します。日米修好通商条約では、関税率が協定によって定められたため、日本は国内産業を保護するために税率を上げるといった柔軟な対応ができなくなりました。これと並んで、日本の裁判権が及ばない領事裁判権の容認も、当時の日本が主権を完全に行使できない不平等な状態であったことを示しています。
問9	答え 4 製造業者の故意や過失を消費者が証明することは技術的に難しいため、製品の欠陥の証明だけで責任を問えるようにした。	以前の民法では、被害者が相手の「過失（落ち度）」を証明する必要がありました。しかし、複雑な電化製品や化学物質などの場合、消費者が企業の製造工程におけるミスを見つけ出すのはほぼ不可能です。PL法は、焦点が「人のミス」から「物の不備」に移ったことで、消費者の救済をより容易にした点に大きな意義があります。なお、不当な契約から守るのは「消費者契約法」の役割です。
問10	答え 1 ロシアが不凍港の獲得を目指して南下政策を強め、イギリスの権益と対立したため	19世紀末、ロシアはシベリア鉄道の建設を進めるとともに、不凍港を求めて満州や朝鮮半島への南下政策を積極化させました。これは、すでに中国（清）で大きな利権を持っていたイギリスにとって大きな脅威となりました。イギリスは単独でロシアを抑えることが困難になったため、東アジアでの利害が一致した日本と同盟を結び、ロシアを牽制しようとしたため、日露戦争が勃発しました。
問11	答え 2 百八十度（太平洋付近）の地点	地球は西から東に向かって自転しているため、より東に位置する地点ほど太陽が先に昇り、時刻が早く進みます。イギリスのロンドンを通る本初子午線から東へ向かうほど時刻は早くなり、東経百八十度の地点に達したとき、そこが世界で最も早く日付が切り替わるラインとなります。この百八十度の経線に沿って、日付を調整するための日付変更線が設けられています。
問12	答え 3 上皇側に味方した貴族や武士の所領を幕府が没収し、そこに多くの地頭を新たに任命したため。	承久の乱で後鳥羽上皇の倒幕計画が失敗に終わると、鎌倉幕府は敗北した上皇方の領地（約300か所）を没収しました。それらの土地に、功績のあった御家人を「新補地頭（しんぼじとう）」として配置したことで、幕府の影響力は西日本まで及ぶようになりました。これは、東国を基盤としていた幕府が全国的な支配権を確立する大きな転換点となりました。